

学校名 春日部市立東中学校
所在地 春日部市樋堀 1 8 1 - 1
電話 0 4 8 - 7 5 2 - 2 4 5 4

1 本校の概要

本校は『夢と生きる力を育む』という学校教育目標の達成に迫るため、「スマート東中57」を合い言葉にしている。笑顔とあいさつを大切に、互いの良いところを認め合える学校である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

- 朝読書（週4日・朝の10分間）
- 各クラスに学級文庫の設置（月1回交換）
- 学校図書館の常時開館

【昼休み（毎日）・長期休業中（夏季5日）】

イ 学校図書館等の環境整備の工夫

- 教員おすすめ図書の紹介



〇〇先生の本棚

校長先生の本棚

教員が一度は読んだことのある、おすすめの本を配架した。高難度の内容もあるが、興味を示し手に取る生徒も多くある。見聞を広げることのできる良い機会である。

○読書の木

図書室おすすめの本を全校生徒に広めるための掲示物である。花びらに、「本の題名」と「心に残った場面」

を書き、木の幹に貼っ



ていく。学年ごとに分けられており、どの学年が活動に積極的かが分かる。

○図書委員の活動

- ・毎日の昼休み（20分間）図書の貸出、返却
- ・掲示物の作成
廊下の窓に季節ごとの掲示物を作成した。
- ・多読賞の表彰



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・1学期から2学期にかけて貸出数を増やすことができた。
- ・今まで一度も図書室に訪れたことのない生徒も、図書室の本に興味をもち、借りていくようになった。
- ・掲示物は、季節ごとに作成し、明るい雰囲気の中で本を読むことができるようになった。
- ・貸出方法と返却方法が明確になり、図書委員一部の生徒だけでなく、委員会全体で責任を持って取り組むことができるようになった。

(2) 課題

- ・貸出数が増えても、全校生徒の半分は未だ図書室を利用したことがないのが現状であるため、学校全体が読書への意識を高められるようにしたい。
- ・自分がどれだけ読んだのか、どの本が心に残っているのか、紹介する場面が少ないので、読書の輪が広まる活動を多く取り入れたい。
- ・「教員おすすめ図書」を入れ替えることによって様々な分野の本に触れる機会を与え、ポップを用い、生徒が手に取りやすい配架工夫を進めたい。

(3) おわりに

図書室の利用生徒数が増えたことが今年度最も喜ばしいことであった。今後も読書の環境を充実させ、各教科でも利用できるようにしたいと考える。そして、学校全体で読書の量・質を共に高めていきたい。